



7月のほけんだより



令和6年7月1日発行
千川保育園

今年も暑い夏がやってきます。気温が高なくても湿度が高いと熱中症のリスクが上がるので、こまめな水分補給を行い暑い夏を乗り切りましょう。

先月園で見られた感染症です

RSウイルス感染症

症状

4～5日の潜伏期間の後、鼻水、咳、発熱などのかぜに似た症状が現れます。通常は1週間前後で回復しますが、なかには肺炎や気管支炎を発症する子どももいます。特に心肺の基礎疾患がある子は重症化しやすいので、注意が必要です。また、新生児、低出生体重児、生後6ヵ月未満の乳児も重症化しやすいとされています。手洗い・うがい（乳児は外から帰ったら水を飲ませる）をしっかり行い予防しましょう。

気管支炎や肺炎などを起こすウイルス感染症で、冬場に乳幼児の多くが感染します。

終生免疫ではなく、2歳までにほぼ100%感染するとされているため、毎年かかる子どもも多いようです。



症状が軽い場合は、かぜを引いた時と同様、水分補給、睡眠、栄養、保温に注意し、安静にして経過を見ます。脱水気味になると、たんが粘稠になって吐き出すのが困難になるので、水分をこまめに与えましょう。

夏はプール活動や肌の露出で接触機会が増えるため接触感染のリスクが高まります。

これらの感染症はアルコール消毒が効きにくいので手洗いや咳エチケットでの予防が大切です。

気をつけよう！夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状をあげました。気になる症状が見られたら、受診をしましょう。

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなりの痛みがある。



プール熱

(咽頭結膜熱)
高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。

手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ぼうがで、熱が出ることもある。



今月の行事

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1日(月) すみれ組 | } 身体計測 |
| 2日(火) つぼみ組
赤ちゅうりっぷ組 | |
| 3日(水) たんぼぼ組 | |
| 4日(木) 黄色ちゅうりっぷ組
ゆり組 | |
| 5日(金) さくら組 | |
| 8日(月) 内科健診 | |
| 16日(火) つぼみ組 身体計測 | |
| 19日(金) 歯科指導(幼児組) | |
| 保健センターの歯科衛生士が歯の磨き方などを教えてくれます。 | |